

ヘラシギ

チドリ目シギ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧 I 類

国カテゴリー 絶滅危惧 I A類

Eurynorhynchus pygmeus (Linnaeus)

選定理由

世界的にも数が少ない上、県内でも秋の渡りの時期に散発的に渡来するのみ、数も1, 2羽とごく少ない。

形態

全長14.5cm、雌雄同色。トウネンとほぼ同じ大きさ。冬羽では上面は灰色、下面は白。夏羽では東部から胸までが赤褐色になる。クチバシの先がへら状になっているのが特徴。

国内分布

日本では数のすくない旅鳥。主に秋に砂浜海岸や干潟に渡来する。

県内分布

金沢から羽咋市までの砂浜海岸で秋、散発的に記録がある。トウネンの群れの中で発見されることが多く、毎年ごく少数が渡来しているものの、群れの中で識別が困難なことから記録され難いものと思われる。

生態

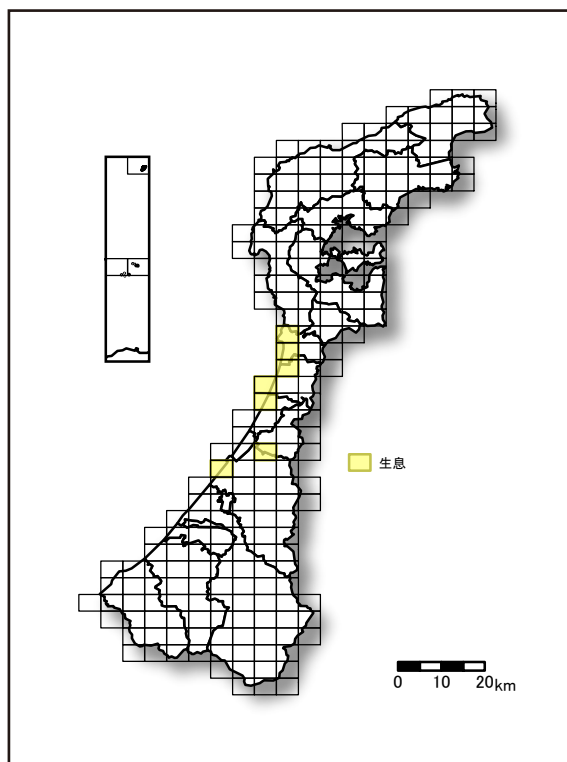
主に秋、砂浜海岸に渡来し、波打ち際で頭を左右に振りながら採食する。トウネンの群れに混じり、ともに行動することが多い。

生息地の条件

広い砂浜海岸や砂質の干潟。

生存の危機

侵食による砂浜海岸の消滅、漂着ゴミに集まるカラスなどの害敵。(A, D)



県内の分布